

報告第9号

株式会社能生町観光物産センターの経営状況について

株式会社能生町観光物産センターの第32期営業報告及び監査報告並びに第33期事業計画及び収支計画について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により次のとおり報告する。

令和2年8月31日

糸魚川市長 米田 徹

第 3 2 期

決 算 報 告 書

平成 3 1 年 4 月 1 日 から

令和 2 年 3 月 3 1 日 まで

株式会社 能生町観光物産センター

（法人番号:8110001021778）

事業部門第32期3月末までの営業概況

1 売店客数

本年度3月末までの売店客数は59,491人で対前年度比-630人(98.95%)となった。GW10連休の4・5月、暖冬少雪だった11月～2月は好調だったが、山形・新潟地震により6月中旬～、長梅雨により7・8月、台風19号により10月、新型コロナウイルス感染問題で3月に大きく落とした。

単位:人

区分	第30期(H29年度)		第31期(H30年度)		第32期(R1年度)		
	客数	累計	客数	累計	客数	累計	月伸率
4月	5,692	5,692	4,412	4,412	5,047	5,047	114.39%
5月	9,995	15,687	6,419	10,831	7,696	12,743	119.89%
6月	5,044	20,731	3,353	14,184	3,424	16,167	102.12%
7月	9,342	30,073	7,234	21,418	5,857	22,024	80.96%
8月	17,787	47,860	13,790	35,208	12,955	34,979	93.94%
9月	5,774	53,634	4,483	39,691	4,551	39,530	101.52%
10月	6,834	60,468	4,844	44,535	3,902	43,432	80.55%
11月	6,108	66,576	4,776	49,311	5,021	48,453	105.13%
12月	4,236	70,812	3,275	52,586	3,704	52,157	113.10%
1月	2,411	73,223	2,240	54,826	2,774	54,931	123.84%
2月	1,425	74,648	1,940	56,766	2,061	56,992	106.24%
3月	3,314	77,962	3,355	60,121	2,499	59,491	74.49%
合計	77,962		60,121		59,491		98.95%

2 売店売上

本年3月末までの直営売店売上は100,817千円で対前年度比+2,228千円(102.26%)となった。売店売上は入込同様にマイナスで推移したがインフォメーション前での農産物直売が大きな売上となった。

単位:千円

区分	第30期(H29年度)			第31期(H30年度)			第32期(R1年度)			月伸率
	売店	その他	売上計	売店	その他	売上計	売店	その他	売上計	
4月	7,853	779	8,632	6,440	14	6,454	7,894	435	8,329	129.05%
5月	15,536	1,230	16,766	10,356	28	10,384	12,331	454	12,785	123.12%
6月	6,896	688	7,584	4,953	10	4,963	4,980	160	5,140	103.57%
7月	14,093	1,313	15,406	11,642	56	11,698	9,360	225	9,585	81.94%
8月	32,296	2,398	34,694	26,834	138	26,972	24,903	472	25,375	94.08%
9月	7,988	853	8,841	6,692	16	6,708	6,769	267	7,036	104.89%
10月	9,914	845	10,759	7,325	22	7,347	5,987	582	6,569	89.41%
11月	8,809	717	9,526	7,481	15	7,496	7,773	448	8,221	109.67%
12月	6,179	651	6,830	5,205	6	5,211	5,853	384	6,237	119.69%
1月	3,523	453	3,976	3,630	9	3,639	4,239	204	4,443	122.09%
2月	1,904	284	2,188	2,603	9	2,612	2,992	238	3,230	123.66%
3月	4,778	164	4,942	4,840	265	5,105	3,652	215	3,867	75.75%
合計	119,769	10,375	130,144	98,001	588	98,589	96,733	4,084	100,817	102.26%
				81.83%	5.67%		98.71%	694.56%		

3 セブンイレブン客数

本年度3月末までのセブンイレブン客数は165,143人で対前年度比+4,385人(102.73%)となった。売店同様に推移したが近隣住民等の平日利用者が底堅く対前年度ではプラスとなった。

単位:人

区分	第30期(H29年度)		第31期(H30年度)		第32期(R1年度)		
	客数	累計	客数	累計	客数	累計	月伸率
4月		0	12,337	12,337	13,675	13,675	110.85%
5月		0	15,020	27,357	19,608	33,283	130.55%
6月		0	11,688	39,045	11,377	44,660	97.34%
7月		0	18,776	57,821	15,657	60,317	83.39%
8月		0	24,128	81,949	25,411	85,728	105.32%
9月		0	13,633	95,582	14,232	99,960	104.39%
10月		0	13,930	109,512	12,345	112,305	88.62%
11月		0	13,013	122,525	12,769	125,074	98.12%
12月		0	10,766	133,291	11,065	136,139	102.78%
1月		0	8,140	141,431	9,314	145,453	114.42%
2月	2,995	2,995	7,674	149,105	8,454	153,907	110.16%
3月	11,067	14,062	11,653	160,758	11,236	165,143	96.42%
合計	14,062		160,758		165,143		102.73%

4 セブンイレブン売上

本年3月末までのセブンイレブン売上は89,066千円対前年度比+5463千円(106.53%)となった。お土産品・釣具等の売上により客単価も533円(前年510円)と大きく伸びた。

単位:千円

区分	第30期(H29年度)			第31期(H30年度)			第32期(R1年度)			
	売上	他収入	売上計	売上	他収入	売上計	売上	他収入	売上計	月伸率
4月			0	6,073	61	6,134	7,026	72	7,098	115.72%
5月			0	7,496	74	7,570	9,983	94	10,077	133.12%
6月			0	5,984	63	6,047	5,904	85	5,989	99.04%
7月			0	9,405	72	9,477	8,162	96	8,258	87.14%
8月			0	12,836	92	12,928	14,115	100	14,215	109.96%
9月			0	7,024	73	7,097	7,302	87	7,389	104.11%
10月			0	6,982	67	7,049	6,617	79	6,696	94.99%
11月			0	6,765	74	6,839	6,716	77	6,793	99.33%
12月			0	5,917	83	6,000	6,203	96	6,299	104.98%
1月			0	4,347	81	4,428	4,783	69	4,852	109.58%
2月	1,791	27	1,818	3,987	71	4,058	4,821	65	4,886	120.40%
3月	5,497	67	5,564	5,881	95	5,976	6,436	78	6,514	109.00%
合計	7,288	94	7,382	82,697	906	83,603	88,068	998	89,066	106.53%

5 事業部全体客数

本年度3月末までの事業部全体の入り込み客数は224,634人对前年度比+3,755人(101.7%)となった。売店の入込は落としたがセブンイレブンの入込が大きく増えた。

単位:人

区分	第30期(H29年度)		第31期(H30年度)		第32期(R1年度)		
	客数	累計	客数	累計	客数	累計	月伸率
4月	5,692	5,692	16,749	16,749	18,722	18,722	111.78%
5月	9,995	15,687	21,439	38,188	27,304	46,026	127.36%
6月	5,044	20,731	15,041	53,229	14,801	60,827	98.40%
7月	9,342	30,073	26,010	79,239	21,514	82,341	82.71%
8月	17,787	47,860	37,918	117,157	38,366	120,707	101.18%
9月	5,774	53,634	18,116	135,273	18,783	139,490	103.68%
10月	6,834	60,468	18,774	154,047	16,247	155,737	86.54%
11月	6,108	66,576	17,789	171,836	17,790	173,527	100.01%
12月	4,236	70,812	14,041	185,877	14,769	188,296	105.18%
1月	2,411	73,223	10,380	196,257	12,088	200,384	116.45%
2月	4,420	77,643	9,614	205,871	10,515	210,899	109.37%
3月	14,381	92,024	15,008	220,879	13,735	224,634	91.52%
合計	92,024		220,879		224,634		101.70%

6 事業部全体売上

本年3月末までの事業部全体での売上は189,883千円で対前年度比+7,691千円(104.22%)となった。客単価が向上しており入込の伸び率よりも大きく伸ばしている。

単位:千円

区分	第30期(H29年度)			第31期(H30年度)			第32期(R1年度)			月伸率
	売上	他収入	売上計	売上	他収入	売上計	売上	他収入	売上計	
4月	7,853	779	8,632	12,513	75	12,588	14,920	507	15,427	122.55%
5月	15,536	1,230	16,766	17,852	102	17,954	22,314	548	22,862	127.34%
6月	6,896	688	7,584	10,937	73	11,010	10,884	245	11,129	101.08%
7月	14,093	1,313	15,406	21,047	128	21,175	17,522	321	17,843	84.26%
8月	32,296	2,398	34,694	39,670	230	39,900	39,018	572	39,590	99.22%
9月	7,988	853	8,841	13,716	89	13,805	14,071	354	14,425	104.49%
10月	9,914	845	10,759	14,307	89	14,396	12,604	661	13,265	92.14%
11月	8,809	717	9,526	14,246	89	14,335	14,489	525	15,014	104.74%
12月	6,179	651	6,830	11,122	89	11,211	12,056	480	12,536	111.82%
1月	3,523	453	3,976	7,977	90	8,067	9,022	273	9,295	115.22%
2月	3,695	311	4,006	6,590	80	6,670	7,813	303	8,116	121.68%
3月	10,275	231	10,506	10,721	360	11,081	10,088	293	10,381	93.68%
合計	127,057	10,469	137,526	180,698	1,494	182,192	184,801	5,082	189,883	104.22%

7 海の資料館「越山丸」利用状況

海の資料館「越山丸」等の3月末までの利用者数は大人が4,760人、子供が1,551人、計6,311人で入館料収入は1,020千円となった。

GWの間は好調であったが8月以降は天候不良や災害が重なり大きく落とすこととなった。

単位:人

月	第30期(H29年度)			第31期(H30年度)			第32期(R1年度)			月伸率
	大人	子供	計	大人	子供	計	大人	子供	計	
4月	375	132	507	773	233	1,006	769	283	1,052	104.57%
5月	870	345	1,215	979	263	1,242	1,283	477	1,760	141.71%
6月			0	457	92	549	382	71	453	82.51%
7月	580	410	990	477	126	603	558	210	768	127.36%
8月	1,430	529	1,959	1,077	376	1,453	662	215	877	60.36%
9月	299	59	358	501	148	649	362	84	446	68.72%
10月	566	125	691	380	94	474	247	38	285	60.13%
11月	386	82	468	540	126	666	438	160	598	89.79%
3月	454	138	592	174	73	247	59	13	72	29.15%
合計	4,960	1,820	6,780	5,358	1,531	6,889	4,760	1,551	6,311	91.61%

宿泊部門第32期末までの営業概況

1 宿泊部門

前半はマリンドリーム30周年記念【カニの豪華盛り】などカニを全面に出したプランで売上は順調に推移したが、6月後半の山形・新潟地震の影響で7月・8月の入込が大きく落ち込み売上も厳しい数字となった。その中で海の家優待プラン・花火観戦プラン等各種新プランを打ち出し、来年度へ向け成果が見られた。しかし10月に入り台風19号により新潟の近隣県に大きな被害が発生、12月の降雪不足などもあり多くの団体のキャンセルが発生した。年が変わりシャルマンスキー場への集客もあり損失分の補填もできると思えたがその後、2月後半から新型コロナウイルス感染拡大が始まり甚大な影響を受けた。本年度3月末までの宿泊客数合計は7,958人で前年度比-28人(99.65%)で売上金額合計は111,297千円で前年度比+3,393千円(103.14%)となった。

区分	第30期		第31期		第32期			
	客数(人)	売上(千円)	客数(人)	売上(千円)	客数(人)	月伸率	売上(千円)	月伸率
4月	799	9,786	585	7,465	674	115.21%	8,989	120.42%
5月	683	8,946	594	7,795	678	114.14%	9,369	120.19%
6月	411	5,572	362	4,570	577	159.39%	7,648	167.35%
7月	594	7,373	864	11,427	624	72.22%	8,454	73.98%
8月	1187	15,288	1,304	17,932	1,207	92.56%	16,630	92.74%
9月	451	5,936	491	6,493	527	107.33%	7,203	110.93%
10月	724	9,434	833	10,653	715	85.83%	9,838	92.35%
11月	707	9,652	806	11,201	742	92.06%	11,433	102.07%
12月	451	6,246	514	7,374	405	78.79%	6,137	83.22%
1月	739	9,931	642	9,419	712	110.90%	10,358	109.97%
2月	489	6,779	474	6,481	679	143.25%	9,252	142.76%
3月	453	6,190	517	7,094	418	80.85%	5,986	84.38%
合計	7,688	101,133	7,986	107,904	7,958	99.65%	111,297	103.14%

2 日帰り部門

災害時期を外してのDMやチラシ配布などの営業訪問の効果もあり会食・宴会の伸びもみられ、糸魚川・上越管内はもちろん広域営業・地元営業により月次の宿泊の落ち込みをカバーすべく取り組んできた。昨年の権現荘30周年日帰り優待キャンペーン実施月であった6月・9月・12月は入込が厳しい数字で終了した。6月の地震・10月の台風などの大きな災害や新型コロナウイルス感染症により集客に大きく影響が出た。本年度3月末までの日帰り入込数は48,206人で前年度比-3,399人(93.41%)で日帰り売上は42,709千円で前年度比-6,757千円(86.34%)となった。

区分	第30期		第31期		第32期			
	客数(人)	売上(千円)	客数(人)	売上(千円)	客数(人)	月伸率	売上(千円)	月伸率
4月	4194	2,602	3,970	2,779	5,381	135.54%	3,288	118.32%
5月	5711	3,564	3,762	3,362	3,891	103.43%	3,226	95.95%
6月	3201	3,587	4,484	3,983	2,626	58.56%	2,995	75.19%
7月	3437	3,565	2,840	3,199	3,267	115.04%	4,096	128.04%
8月	5600	4,200	4,476	4,640	4,848	108.31%	3,027	65.24%
9月	3487	3,230	5,146	5,256	4,019	78.10%	3,723	70.83%
10月	3709	3,988	3,051	4,167	2,784	91.25%	2,640	63.35%
11月	3348	4,246	3,148	4,907	3,222	102.35%	3,809	77.62%
12月	3628	3,439	5,897	4,180	3,336	56.57%	3,635	86.96%
1月	5529	4,942	4,764	5,295	6,297	132.18%	6,190	116.90%
2月	4380	3,536	3,722	2,951	4,168	111.98%	3,499	118.57%
3月	5739	5,665	6,345	4,747	4,367	68.83%	2,581	54.37%
合計	51,963	46,564	51,605	49,466	48,206	93.41%	42,709	86.34%

3 売店・その他の部門

陳列方法・商品構成・地元食材販売などの充実により宿泊者や日帰りのお客様に「より親しみの持てる商品構成を」と各種見直しを行い、さらに地物に対する要求が多かったため地元栽培シタケや梅干等の地産商材や地域連携としての「むすび糸」や「能水商店」などを前面に打ち出し、入込が増加する時期にあわせ売上増を見込んだが落ち込んだ数字を挽回するまでにはいかず、昨年並みまで持ち返した状況で終了した。本年度3月末までの売店・その他売上は17,941千円で前年度比-99千円(99.45%)となった。

区分	第30期			第31期			第32期			
	売店	その他	計(千円)	売店	その他	計(千円)	売店	その他	計(千円)	月伸率
4月	990	90	1,080	1,240	88	1,328	1,441	84	1,525	114.83%
5月	1,308	118	1,426	1,457	122	1,579	1,814	162	1,976	125.14%
6月	1,152	108	1,260	1,009	123	1,132	1,182	142	1,324	116.96%
7月	936	86	1,022	1,320	153	1,473	1,405	255	1,660	112.70%
8月	1,350	119	1,469	1,969	144	2,113	1,333	147	1,480	70.04%
9月	911	89	1,000	1,298	168	1,466	1,292	148	1,440	98.23%
10月	1,676	154	1,830	1,478	143	1,621	1,148	161	1,309	80.75%
11月	2,310	155	2,465	1,671	173	1,844	1,416	173	1,589	86.17%
12月	1,129	111	1,240	1,161	130	1,291	981	97	1,078	83.50%
1月	1,348	192	1,540	1,343	159	1,502	1,602	138	1,740	115.85%
2月	1,034	120	1,154	1,135	122	1,257	1,563	114	1,677	133.41%
3月	1,235	95	1,330	1,319	115	1,434	1,074	69	1,143	79.71%
合計	15,379	1,437	16,816	16,400	1,640	18,040	16,251	1,690	17,941	99.45%

4 入込状況

6月後半の山形・新潟地震は現地とは離れていても、県外からの状況確認の問い合わせが多く新潟県ということでお客様の心配する声が多く聞かれた。また10月の台風19号も当社中心顧客の長野県・富山県なども大きな被害があり全く集客に繋がらない状況であった。12月は少雪で壊滅的であったが、その後は唯一積雪のあったシャルマンスキー場にお客が集中し1月・2月は持ち返した矢先に新型コロナウイルス感染症拡大による大きな影響が出る結果となった。
本年度3月末までの宿泊部合計入込は56,164人で前年度比-3,427人(94.25%)となった。

区分	第30期			第31期			第32期			月伸率
	宿泊	日帰り	計(人)	宿泊	日帰り	計(人)	宿泊	日帰り	計(人)	
4月	799	4194	4,993	585	3,970	4,555	674	5,381	6,055	132.93%
5月	683	5711	6,394	594	3,762	4,356	678	3,891	4,569	104.89%
6月	411	3201	3,612	362	4,484	4,846	577	2,626	3,203	66.10%
7月	594	3437	4,031	864	2,840	3,704	624	3,267	3,891	105.05%
8月	1187	5600	6,787	1,304	4,476	5,780	1,207	4,848	6,055	104.76%
9月	451	3487	3,938	491	5,146	5,637	527	4,019	4,546	80.65%
10月	724	3709	4,433	833	3,051	3,884	715	2,784	3,499	90.09%
11月	707	3348	4,055	806	3,148	3,954	742	3,222	3,964	100.25%
12月	451	3628	4,079	514	5,897	6,411	405	3,336	3,741	58.35%
1月	739	5529	6,268	642	4,764	5,406	712	6,297	7,009	129.65%
2月	489	4380	4,869	474	3,722	4,196	679	4,168	4,847	115.51%
3月	453	5739	6,192	517	6,345	6,862	418	4,367	4,785	69.73%
合計	7,688	51,963	59,651	7,986	51,605	59,591	7,958	48,206	56,164	94.25%

5 宿泊部全体売上

月次表の中盤で見られるように一番集客の期待できるところでの地震・長雨・台風・降雪不足・新型コロナウイルス感染症と32期は災害等が多く、取引先も被災するなど積極的な営業展開が出来ない状況で、年初では予測のつかない特別な環境に苦慮の続いた1年となった。
本年度3月末までの宿泊部合計売上は171,947千円で前年度比-3,463千円(98.03%)となった。

区分	第30期	第31期	第32期	月伸率
	売上(千円)	売上(千円)	売上(千円)	
4月	13,468	11,572	13,802	119.27%
5月	13,936	12,736	14,571	114.41%
6月	10,419	9,685	11,967	123.56%
7月	11,960	16,099	14,210	88.27%
8月	20,957	24,685	21,137	85.63%
9月	10,166	13,215	12,366	93.58%
10月	15,252	16,441	13,787	83.86%
11月	16,363	17,952	16,831	93.76%
12月	10,925	12,845	10,850	84.47%
1月	16,413	16,216	18,288	112.78%
2月	11,469	10,689	14,428	134.98%
3月	13,185	13,275	9,710	73.15%
合計	164,513	175,410	171,947	98.03%

損益計算書

商号 株式会社 能生町観光物産センター

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 売 上 高 商 品 上 高 賃 貸 売 入 権 現 料 上 入 場 料 ・ 手 数 料 等 収 施 設 管 理 受 託 案 内 業 務 受 託 料	191,894,553 29,790,757 171,817,825 8,284,347 7,859,074 1,363,636	411,010,192 411,010,192
II 売 上 原 価 期 首 た な 卸 高 商 品 仕 入 高 食 材 等 仕 入 高 不 仕 合 品 原 価 入 値 引 戻 し 高 期 末 た な 卸 高 売 上 総 利	146,446,374 44,517,954 -3,122,317 △ 1,228,375	15,386,647 186,613,636 202,000,283 18,845,790 183,154,493 227,855,699
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 失		248,865,640 248,865,640 21,009,941
IV 営 業 外 収 益 受 取 取 配 収 当 金 入 受 取 取 配 収 当 金 入		2,019 2,500 5,545,086 5,549,605
V 営 業 外 費 用 支 払 利 息 割 引 料 繰 上 延 資 産 損 引 却 失		507,572 300,000 397,884 1,205,456
経 常 損 失		16,665,792
VI 特 別 利 益		0 0
VII 特 別 損 失		0 0
税 引 前 当 期 純 損 失 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 損 失		16,665,792 200,000 16,865,792

販売費及び一般管理費の計算内訳

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
販売員給与・賞与	81,013,875
案内業務人件費	1,391,484
旅費	416,609
広告宣伝費	8,891,272
容器包装費	970,888
発送配達費	46,638
支払手数料	13,531,419
その他の販売費	629,956
販売促進費	6,701,506
役員報酬	8,090,000
管理者給与・賞与	6,819,546
厚生費	14,611,414
減価償却費	17,235,836
地家賃・リース料	4,535,499
修繕費	2,986,323
事務用品費	1,035,535
通信費	1,430,387
水道光熱費	38,042,110
租税公課	2,942,315
接待交際費	431,958
保険料	1,613,524
備品消耗品費	4,978,455
管理諸費	21,937,638
イベント費	802,031
衛生費	3,072,004
不良品・たな卸増減	2,632,327
雑費	2,075,091
合 計	248,865,640

たな卸資産の計算内訳

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
商品	8,831,945
原材料	10,013,845
貯蔵品	4,939,613
合 計	23,785,403

株主資本等変動計算書

(単位:円)

	株主資本						株主資本合計	評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	その他利益剰余金				
	資本金	資本準備金	資本剰余金	その他利益剰余金						
当期首残高	43,000,000	0	0	4,042,000	120,192,897	0	0	0	167,234,897	
当期変動額					0				0	
建物圧縮積立金の取り崩し					-16,865,792				-16,865,792	
当期純損失					-16,865,792				-16,865,792	
当期変動額合計	0	0	0	0	-16,865,792	0	0	0	-16,865,792	
当期末残高	43,000,000	0	0	4,042,000	103,327,105	0	0	0	150,369,105	

■その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書

(単位:円)

	その他資本剰余金の内訳			その他利益剰余金の内訳				繰越利益剰余金	その他利益剰余金合計
	資本準備金減少額	自己株式処分差益	その他資本剰余金合計	別途積立金	建物圧縮積立金	特別償却準備金	その他利益剰余金合計		
当期首残高	0	0	0	143,000,000	2,387,879	0	0	-25,194,982	120,192,897
当期変動額									
建物圧縮積立金の取り崩し					-1,380,000			1,380,000	0
当期純損失								-16,865,792	-16,865,792
当期変動額合計	0	0	0	0	-1,380,000	0	0	-15,485,792	-16,865,792
当期末残高	0	0	0	143,000,000	1,007,879	0	0	-40,680,774	103,327,105

監 査 報 告 書

平成31年4月1日より令和2年3月31日までの第32期営業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告書に関する書類及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和2年5月19日

株式会社能生町観光物産センター

監査役

齋藤武司



監査役

倉又孝好



第33期 営業計画

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

株式会社 能生町観光物産センター

第33期 営業計画

I 経営理念

『共存共栄』

～お客様と、地域と、行政と、三位一体となって、共に在り、共に栄えていく～

II 年間テーマ

観光の情報発信基地として、よりきめの細かな快適なサービスの提供に努めるとともに、お客様のニーズにあった販売活動を推進する。地域との連携の中で、自らの力でお客様を創り、自らの力で売上を創り、自らの力で利益を創る。

III 行動方針

『海・愛・人・恵・共・幸』

～私たちは心をこめてお届けします～

お客様がいてこそそのマリンドリーム能生・権現荘であるから、そのお客様に喜んで頂ける、安心して利用できる施設を目指す。

糸魚川市の観光施設として能生地域の核であることを自覚し、行政と緊密に情報の共有化を図るなかでマリンドリーム能生・権現荘ならではのサービスの提供・交流人口の増大を目指しつつ地域と一体となった観光施設を目指す。

IV 経営方針

◎ 経営戦略の実行

経営戦略会議により策定された中・長期的な展望を基に新たな目標に向け取り組みを進める。

◎ 部門別経営の確立

各部門毎の責任所在を明確にし、確実な売上と確実な利益を確保できる自立した部門形成を目指す。指定管理により当社が運営する施設への誘客を促進し、その波及効果を施設全体への波及効果として現れるような仕掛け作りを関係者等との協調のなかで促進することを目指すものとする。

◎ 閑散期の利益確保

コンビニエンスストアの営業により地域住民及び通行客の集客を促進し、従来のお土産売店にはない販売品目を取り揃えることにより近年増加してきているアウトドア需要を取り込み観光閑散期にあたる期間の売上・入込の増大を図り各月の利益を確保し、安定した経営を目指す。

観光案内業務を更に充実し、閑散期にもしっかりと市内観光情報を提供する事により、立寄り客の増大を図る。

市内観光施設や関係業者等との連携を強化し、魅力あるイベント等を開催するなどして施設利用者の増を目指し、シーズン格差の解消に努める。

◎ 実行のスピード化

決定事項の業務指示から実行までのスケジュールを明確にし、顧客満足に対応するスピードアップを図る。

テナント会及び関係者等との協調を強化し、より良いイベント等の開催を図り顧客のニーズにスピード感を持って、対応できる体質作りを図る。

◎ 施設特徴の明確化

日本海に面していること、久比岐県立自然公園内でジオサイトの一つに含まれていること、駐車施設が豊富であること、各種の施設が整備されていることなどの立地条件を最大限活用し、それぞれの部門で発揮するなかで他施設との差別化を図る。観光情報の正確な提供を図り、観光情報発信基地としての特性を発揮できるような体制を構築する。

マリンドリーム能生の重点道の駅認定、柵口温泉権現荘の温泉総選挙レジャー・スポーツ部門全国2位という昨年に引き続き、良いニュースを全面に押し出したPR活動を実行する。

◎ 目標

中期計画を見直しながらその計画を更に充実し、実施スケジュール等の明確化を図り、販売実績の向上を目指すと共に重点道の駅認定によるマリンドリーム能生の整備計画を策定する。

糸魚川市及び観光協会との連携を更に強化し、市内観光施設との交流、情報交換の場の設定を糸魚川市商工観光課に求め、オール糸魚川のスケールメリットを十分に発揮できる体制作りを行う。

V 事業戦略

- (1) 総務経理基本計画
- (2) 営業基本計画
- (3) 商品売上基本計画
- (4) 賃貸料収入、委託販売手数料、入場料収入、施設管理受託基本計画
- (5) 第33期 収支計画

VI 数値目標

事業部門(マリンドリーム能生)

	32期		33期目標
	目標	実績	
集客目標	550,000 人	452,597 人	274,000 人
年間売上	210,000 千円	191,895 千円	116,210 千円
利益目標	2,258 千円	△11,070 千円	△10,903 千円

宿泊部門(柵口温泉権現荘)

	32期		33期目標
	目標	実績	
集客目標	62,000 人	56,164 人	36,500 人
年間売上	192,000 千円	187,378 千円	121,500 千円
利益目標	643千円	△5,597 千円	△29,900 千円

(1) 営業基本計画

事業部門

- ・市内各施設、民間関連施設との連携、案内業務の確立と情報の一元化
- ・マリンドリーム能生と柵口温泉権現荘の連携と協力
- ・「道の駅」連携で積極的な出張宣伝
- ・類似施設や観光客の動向調査と検証
- ・テレビ等従来のマスメディアに加え WEB やフェイスブック等 SNS による広告宣伝、発信力の強化
- ・上越漁業協同組合・海洋高等学校との連携強化及び市内における特産品製造商品の消費拡大と販売及び PR
- ・直営店では、海洋高校・能水商店とのコラボレーションを図り、販路拡大を目指すとともに、商工会や市内業者との商品販売における連携をはかる。
- ・農産物直売コーナーにおいては地域より広く出展者を募り季節ごとの地場特産品の拡販に務める。
- ・コンビニ部門では地域住民への社会・生活インフラの提供、道の駅利用者の利便性の向上、直営売店にはない販売品目を取り扱うことにより昨今旺盛なアウトドア層の需要を取り込む。
- ・新型コロナウイルスの社員・お客様への安全・予防対策強化と、新しい生活様式への積極的な取組。
- ・通販商品の新規開発と販売強化

宿泊部門

- ・近隣施設等との連携によるプランへの取り組み
- ・四季折々の各種プランの充実
- ・地域と連携した催し物の企画・実施
- ・マリンドリーム能生イベントとの連携と協力
- ・新型コロナウイルスの社員・お客様への安全・予防対策強化と、新しい生活様式への積極的な取組。
- ・通販商品の新規開発と販売強化
- ・地域住民との人間関係の構築(地元への営業強化)

(2) 商品販売基本計画

基本方針

笑顔をもって、元気にお客様をおもてなしする。
活気、活力、活動を基本とし、販売対応のリセットを行う
市内関連施設との連携を図り、最大限のコストパフォーマンスを目指す

重点方針

シーズンごとの売場演出の工夫
地場の季節産品、地域生産品の積極販売
安全・安心に裏づけられた販売活動
新生活様式の啓蒙、徹底

(3) 賃貸料収入、委託販売手数料、入場料収入、施設管理受託基本計画

基本方針

受託管理施設の利用促進及び利用者のマリンドリームへの誘導
行政とタイアップした入場者増加策の構築
新商品の積極的な採用、業界情報の的確な把握、館内出店ルールの確認

重点方針

地場産品の販売促進につながる賃貸出店の育成
保健衛生・環境美化の保持
テナントの独自性発揮とテナント間の連携強化
キャンプ場・RVパークの利用を促進し新たな客層の確保をはかる

(5) 第33期 収支計画

別紙のとおり

第33期予定損益計算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

単位:千円

勘定科目	33期決算見込	32期決算	前期差額
商品売上高	116,210	191,895	-75,685
貸料収入	30,200	29,791	409
権現荘売上	121,200	171,818	-50,618
入場料・手数料等収入	6,500	8,285	-1,785
施設管理受託料	7,860	7,859	1
案内業務受託料	1,360	1,364	-4
売上高	283,330	411,012	-127,682
期首棚卸高	18,845	15,387	3,458
商品仕入高	88,703	146,446	-57,743
食材等仕入高	34,500	44,518	-10,018
不良品原価	2,040	3,122	-1,082
仕入値戻し高	840	1,228	-388
期末棚卸高	12,309	18,846	-6,537
当期売上原価	126,859	183,155	-56,296
売上総利益	156,471	227,857	-71,386
売利率	55.23%	55.44%	-0.21%
販売員給与・賞与	80,510	81,014	-504
案内業務人件費	1,390	1,391	-1
役員報酬	8,740	8,090	650
管理者給与・賞与	6,940	6,820	120
厚生費	15,670	14,611	1,059
人件費計	113,250	111,926	1,324
旅費	377	417	-40
広告宣伝費	5,500	8,891	-3,391
容器包装費	680	971	-291
発送配達費	40	47	-7
支払手数料	9,665	13,531	-3,866
その他の販売費	440	630	-190
販売促進費	4,120	6,702	-2,582
減価償却費	16,652	17,236	-584
地代家賃・リース料	3,980	4,535	-555
修繕費	1,550	2,986	-1,436
事務用消耗品費	898	1,036	-138
通信交通費	1,260	1,430	-170
水道光熱費	30,300	38,042	-7,742
租税公課	2,920	2,942	-22
寄付金	100	0	100
接待交際費	728	432	296
保険料	4,490	1,614	2,876
備品消耗品費	10,880	4,978	5,902
管理諸費	10,918	21,938	-11,020
イベント費	370	802	-432
衛生費	2,400	3,072	-672
不良品・たな卸増減	1,710	2,632	-922
雑費	1,715	2,075	-360
その他計	111,693	136,939	-25,246
販管費計	224,943	248,865	-23,922
営業利益	-68,472	-21,008	-47,464
受取利息割引料	2	2	0
受取配当金	2	2	0
雑収入	28,481	5,545	22,936
営業外収益	28,485	5,549	22,936
支払利息	430	508	-78
繰延資産償却	300	300	0
雑損失	390	398	-8
営業外費用	1,120	1,206	-86
経常利益	-41,107	-16,665	-24,442

